

## V. 参考資料

### 用語解説

#### 【あ行】 アダプトプログラム(あだふとぷろぐらむ)

アダプトとは養子という意味で、住民や企業・団体等が道路や公園、河川など「公共施設」の里親となり、引き受けた施設の世話（清掃や植栽の管理などの環境美化活動）を担ってもらおうというもの。

#### ETC2.0 プローブデータ(いーていーしー2.0 ぷろーぶでーた)

ETC2.0 対応車載器より、道路管理者が管理する ITS スポットから収集される車両の走行位置の履歴などの情報。

#### イメージハンプ(いめーじはんぷ)

地域への入口、交差点や合流点に、車両の減速を促すよう視覚的に減速や安全確認などをドライバーに促す路面サイン。

#### ITS(Intelligent Transport Systems)

#### (いんてりじえんと・とらんすぽーと・しすてむ)

道路の交通の安全性、輸送効率性、快適性などを目的に、最先端の情報通信技術などを用いて、人と道路と車両とを一体として構築する高速道路交通システム。

#### ウェルネスバレー基本計画(うえるねすばれーきほんけいかく)

あいち健康の森とその周辺に健康長寿の一大拠点の形成を目指す基本計画のこと。

#### ウォーキングトレイル(うおーきんぐとれいる)

豊かな景観、自然、歴史的物事、文化施設などをつなぎ、うるおいが実感できる質の高い歩行者空間ネットワーク。

#### 【か行】 幹線道路(かんせんどうろ)

地方生活圏内に二次生活圏の骨格を構成する道路。

#### 協働(きょうどう)

市民と行政が相互の理解と信頼の下、目的を共有し、連携・協力して地域の公共的な問題の解決を目指すこと。

#### 緊急輸送道路(きんきゅうゆそうどうろ)

災害等有事の際に物資や人を運ぶため、優先的に通行が確保される道路。

#### 健康プログラム(けんこうぷろぐらむ)

健康づくりに対する無関心な層も含めた多数の住民等が健康づくりに興味を持ち、参加・継続できることを目的に大府市が運営するプログラム。

#### 高規格道路(こうきかくどうろ)

自動車の高速交通確保を図るため、主要都市間の連携強化を目標とした全国的な自動車交通網を構成する自動車専用道路。

#### コミュニティ道路(こみゅにていどうろ)

広い意味では、人と車の共存を目的とした道路。歩車共存道路と比較した狭

い意味では、歩道をゆったりととり、また、車のスピードを落とさせたり、通過交通も減らしたりするために、車道を曲線化した道路。

【さ行】 サスティナブル(さすていなぶる)

一般的には、「持続可能な」と表現するが、ここでは改善改革を繰り返しながら、発展し続ける「未来志向」という観点的な意味で使用している。

主要幹線道路(しゅようかんせんどうろ)

主として地方生活圏及び主要な都市圏域の骨格を構成するとともに地方生活圏相互を連絡する道路。

生活道路(せいかつどうろ)

補助幹線道路から各戸口までのアクセス機能を主とした道路。

総合計画(そうごうけいかく)

市政の総合的な指針であり、より豊かな市民生活を実現するための計画で、市の計画で最も上位に位置する計画。

ゾーン30(ぞん30)

生活道路における歩行者や自転車の安全な通行を確保することを目的とした安全対策の一つ。区域(ゾーン)を決めて自足30キロの速度規制を実施。

【た行】 通学路交通安全プログラム(つうがくこうつうあんぜんぷろぐらむ)

関係機関の連携体制を構築し、継続的に通学路の安全を確保するために策定されたプログラム。

透水性舗装(とうすいせいほそう)

降水を地中に還元したり、あるいは路面の排水を助長するために透水性を向上させた舗装。

道路ネットワーク(どうろねっとわーく)

都市を形成する環状道路によって、地域間の交流や連携、物流の効率化を支援するためのアクセス道路。

都市計画道路(としけいかくどうろ)

都市計画法に基づいて、あらかじめ位置、ルート、幅員などが決められた都市の骨格となり、まちづくりに大きく関わる道路。

都市計画マスタープラン(としけいかくますたーぷらん)

都市計画法により規定された、市町村の都市計画に関する基本的な方針等を総合的に定めたもののこと。

【な行】 ネーミングライツ(ねーみんぐらいつ)

公共施設の所有権はそのままにして、施設の名称(愛称)の命名権だけを企業等に譲渡し、広告費として収入を得て点検・維持管理費等に充てる。

【は行】

排水性舗装(はいすいせいほそう)

表層と基層の間を水が流れ排水処理施設に排水させることで、水はねを防いだり騒音をやわらげる効果がある舗装。

バリアフリー(ばりあふりー)

障がい者や高齢者の生活に不便な障害を取り除こうという考え方。道や床の段差をなくしたり、階段のかわりにゆるやかな坂道を作ったりする。

ビッグデータ(びっぐでーた)

一般的なデータ管理・処理ソフトウェアで扱うことが困難なほど巨大で複雑なデータの集合。

ふれあいバス(ふれあいばす)

市が運営し、駅や公民館などの公共施設への行き帰りや、地域での身近な交通手段として利用できるバス。

補助幹線道路(ほじょかんせんどうろ)

地方生活圏内の一次生活圏内の骨格を構成する道路。

**【や行】** ユニバーサルデザイン(ゆにばーさるでざいん)

障がい者、高齢者、健常者などの区別なく様々な人の個性や特徴を考え、はじめから多くの人の方を取り入れ計画したデザイン。